



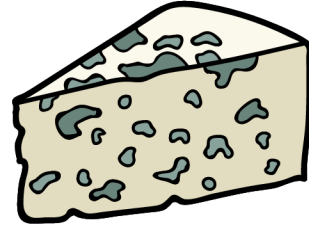
皆さん、チーズは好きですか？

チーズ の3択クイズに挑戦しましょう！

第1問

ブルーチーズの青い部分の正体は何でしょうか？

- ① ブルーベリー
- ② ハーブ
- ③ 青かび



第2問

日本で初めて、今のチーズの元となる食品（^そ蘇）が作られたのは何時代でしょう？

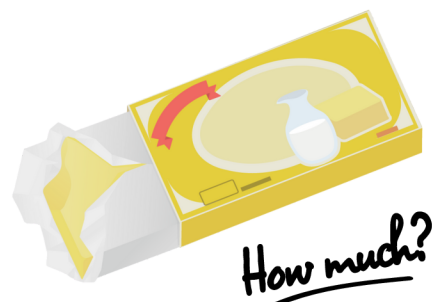
- ① 飛鳥時代
- ② 奈良時代
- ③ 鎌倉時代



第3問

昭和9年に発売された「雪印北海道チーズ」一箱（450g）の当時の値段は？

- ① 1円
- ② 10円
- ③ 100円





チーズ クイズの答えと解説

第1問

答え：③ 青かび

ブルーチーズの青い部分は「青かび」です。
ブルーチーズの青かびは食用で、食べても安全なカビです。
チーズの中で空気を吸いこみながら育ち、うまみや香りを作ります。見た目や臭いに驚きますが、あの臭いがたまらなく好きだという熱心なファンが多くいます。



第2問

答え：① 飛鳥時代

「蘇（そ）」は、牛の乳を煮つめて作る、
チーズのもとになった食べ物です。

飛鳥時代には貴族たちの間で食べられていましたが、
武家社会の発展とともに作られなくなりました。

明治時代、北海道に来た外国人がチェダーの製法でチーズ
作りを伝え、現代のチーズにつながったのです。



第3問

答え：① 1円

日本で初めて本格的に発売されたチーズは、昭和9年に雪印
乳業が発売した「雪印北海道チーズ」で、
1箱450グラムあたり1円でした。

当時の1円は、近年の企業物価指数から
計算すると現代の1500～2000円程の価値。
チーズはとても珍しい高級食材でした。



雪印チーズ 450g
1934年(昭和9年) 当時1円

雪印メグミルク公式サイトより <https://www.meg-snow.com/cheeseclub/knowledge/history/japan/>